

2025年度 一般社団法人野洲青年会議所

交流委員会事業計画書

委員長 奥田 飛大 担当副理事長 河本 文太

副委員長 小西 大記

委員 岩井 秀樹、遠藤 直子、玉川 久嗣

委員会予算 ￥500,000-

①2025年度事業方針

交流拡大や自己成長、地域のつながりをつくることを目的で野洲青年会議所に参加し、今では当初に比べ色々な方と交流を深められ自己成長もでき、地域のつながりも作ることができています。しかし、中には組織に馴染めず孤独感や不安を感じ、活動に制限をかけるメンバーもいます。青年会議所の課題として新しいメンバーが孤立しやすい環境があると認識しました。こうした孤独感や不安や悩みに寄り添いながら、困難や課題に直面しても個々ではなくチームとして助け合い、その課題を突破できる組織が本当に格好良い組織だと考えています。

まずは、青年会議所活動で困難や課題に直面しても、それを乗り越えた先に、喜びや達成感を共有し合うことが大切だと考えております。そして、時代に合った考え方にしっかりと対応しつつ、未来を見据えた活動を継続していくことが重要です。そのために、メンバーがより積極的に交流できる場を提供し、メンバー間の信頼と絆を醸成するための取り組みを推進していきます。

また、メンバーが家庭での理解を得られるような発信や活動も積極的に行っていきます。家族のサポートがあってこそ、メンバーは安心して活動に専念できると考えているからです。そして、子供にも青年会議所という組織を好きになってもらい、青年会議所の活動に対して後押しをしてもらう体制を作ることで、メンバーが活動に対して不安を取り除けると考えています。さらに、先輩諸兄姉と交流が少ない若手メンバーが、活動を応援してもらえるように交流のきっかけの場を設けます。

今後も、新しい仲間を温かく迎え入れ、安心して活動できる環境を整えるとともに、楽しい時間を共有しながら、強固なチームワークを築き、青年会議所活動を続けたいと思える格好良い組織を目指します。そして、地域の問題や課題に対しても積極的に立ち向かい、行動していける組織は、これから出てくる様々な地域社会の課題解決の突破口を切り拓くことにつながると確信しています。

②2025年度事業計画

5月 交流例会
8月 交流例会
12月 望年例会

③月別委員会活動計画

月	例会	対内事業	対外事業	委員会活動
1				
2				5月例会協議
3				5月例会協議
4				5月例会審議
5	○	○	○	8月例会協議
6				8月例会協議
7				8月例会審議 5月例会決算報告書
8	○	○		
9				12月例会協議
10				12月例会協議 8月決算報告書
11				12月例会審議
12	○	○	○	

④主たる活動（事業）の見込み予算

No.	活動（事業）項目	見込み予算	概要
1	5月例会	￥150,000-	会員・会員家族対象
2	8月例会	￥150,000-	会員対象
3	12月例会	￥200,000-	会員・シニアクラブ対象
	合計	￥500,000-	

⑤その他

- ・例会タイムの企画、実施
- ・会員間が交流をもてる場の企画、実施
- ・対外との積極的な交流と交流の場を企画、設営
- ・交流機会の提供
- ・家族から理解を得るための活動と発信

- ・対外的交流の場から会員拡大の実施
- ・入会オリエンテーションの実施
- ・SNS での情報発信内容の考案 ・例会の設営

【 前回までの流れ(意見と対応) 】

第2回 執行部会 2024年10月 1日 協議

意見1：4の見込み予算が記載されていません。追記をおねがいます。

対応1：追記しました。

意見2：フォーマットの2025年度事業計画が消えています。追加してください。

対応2：追加しました。

意見3：2段落目が委員長の考えばかりで委員会としての考えが見えない。文章を再

考し委員会としての方針を記載してください。

対応3：再考し文章を訂正しました。

意見4：現状の委員会方針からでは、5月、8月、12月のイメージが出来ない。イメ

ージが出来るように文章を再考してほしい。

対応4：自分の経験をもとに5月、8月、12月でメンバーにどうなってほしいか

をイメージし追記しました

意見5：全体的に同じような内容が重ねて書かれている部分があるので、文章を再考

し文章を整理してほしい。(文字数制限を意識しながら)

対応5：文章を訂正し、800文字以内で整理しました。

意見6：委員会メンバーの名前の後に句読点を入れて、委員会方針として他の委員

会の委員会方針と統一してほしい。

対応6：訂正しました。

意見7：3段落目の絆と連帯感はよく似た表現だが、どういう使い分けがあるか知

りたい。

対応7：連帯感という表現を消し絆と言う文で訂正しました。

第2回 理事会 2024年10月16日 協議

意見1：一段落目に記載されている重要、大切、推進する必要性が見えない。

対応1：より重要性がわかるように追記しました。

意見2：何を突破したいのか？文章の構成を見る限り理解できない。

対応2：具体的に記載することで理解できるよう訂正しました。

意見3：2段落目の手法の部分で、5月、8月、12月の活動の詳細が見えない。

対応3：文章訂正しました。

意見4：安心できる活動とは何を指しているのか？またどんな活動なのか？

対応4：チームで助け合える活動です。

意見5：地域社会への一層の貢献とは何を指していますか？

対応5：これから出てくる様々な地域社会の課題解決です。

意見6：2段落目の格好良い組織とはどのようなことを想定されていますか？

対応6：個々ではなくチームとして助け合い課題を突破できる組織と具体的に修正しました。

意見7：・④対象者欄が空欄ですが、どんな想定をしているのか？

対応8：抜けていたので、想定している対象者を記入しました。

意見9：一番解決したい組織の課題点を教えてほしい。

対応9：メンバー一人ひとりの孤独感や不安や悩みです。

意見10；第一段落の文章の構成に違和感があるので、接続詞を見直してほしい。

対応10：見直し、修正しました。

意見11：喜びや達成感の共有を大事にされていると思うが、どんな活動を通じて得られるのか？

対応11：交流を通じて今までより個々ではなくチームとして活動することにより得られると考えています。

意見12：一緒に乗り越えるために、何が必要だと考えておられますか？

対応12：みんなが寄り添い自分事という意識で助け合いが必要。

意見13：奥田委員長が退会せずに踏みとどまったきっかけは何ですか？

対応13：自分に寄り添い気にかけてくれる先輩がいたからです。

第3回 執行部会 2024年10月30日 審議

意見1：青年会議所メンバーとして寄り添い、助け合い、チームになるには何が必要か

対応1：メンバー同士の交流を深めることと困難や課題を乗り越えること。

意見2：困難や課題を共に乗り越えよう、協力しようと仲間におもってもらうには何が必要か。

対応2：交流を深め、楽しみや課題や辛さを共に共有することが必要です。

意見3：時代に合った考え方、未来を見据えた活動とは具体的にイメージできているか。

対応3：言葉や行動を時代に合わせながら家族やシニアクラブと交流。

意見4：一人ひとりが楽しめるかっこいい組織、とは一人ひとりが主体的に楽しんで活動している組織なのか、活動のなかで受動的に楽しませてもらえる組織なのか。

対応4：一人ひとりが楽しんで活動し楽しめてない人には手を差し伸べ巻き込むイ

メージです。なので主体的に楽しみ受動的に楽しませる。

意見5：「新しいメンバーが孤立しやすい環境」にカギ括弧が付いている意味は？

もしカギ括弧を使いフォーカスしたいのであれば、ネガティブな要素よりポジティブな要素にカギ括弧を使ってほしい。

対応5：訂正しました。

意見6：入りがネガティブに感じる。それはあくまでも委員長の所感ではないか？

現に、入会から孤立していないメンバーも多くいるし、青年会議所とはそういう組織ではないはず。カッコいい組織を目指すなら前向きな背景から入ってほしい。

対応6：入り方を訂正しました。

意見7：積極的活動の先に協力等があるように思う。

孤独感や不安、悩みを抱えながらも頑張っている人は支えたいと思うが、頑張ろうとしない人は支えたいとは思えない。

委員長も頑張ろうとしていたから先輩メンバーが支えてくれたのではないか？

対応7：知らない環境の中で何をどう頑張ったらいいかわからない人もいます。まず孤独感と不安を感じさせてしまってる時点が問題なのでそこをまずは問題点とし

て見えています。

意見8：理事会での理事長の意見が委員会方針に盛り込んでいるのか？

理事会では、どんなことがあっても三年間は耐え抜こうと思った。と言っていたがその先に今があるのではないか？そういう部分を記載してほしい。

対応8：意見6を訂正することによりその先に何を得たのかを記載しました。

意見9：自己成長を促す部分が見えないが委員長的にはどう考えているか？

成長した人同士が交流すれば、よりカッコいい組織になるのではないか？

対応9：成長した同士が交流する前にまずは寄り添い交流することにより成長できる環境を作る事が大事だと考えています

意見10：例会構築時から他のメンバーを巻き込むイメージ？

課題や困難を乗り越えるためには、例会だけで足りるのか？その他にも機会を考えているのか知りたい。

対応10：個々ではなく皆を巻き込む事により機会をつくります。

意見11：先輩諸兄姉との関りが12月だけでいける？

懇親会レベルでも良いので、もっと先輩諸兄姉とつながれる場を作ってほしい

対応11：きっかけ作りの場を設けたいという考えだったので文を訂正しました。

第3回 理事会 2024年11月13日 審議

意見1:意見対応3の言葉や行動を時代に合わせながら家族やシニアクラブと交流。

の部分についてももう少し詳しく教えてほしい。

対応1:コンプライアンスを現代に合わせながらの交流

意見2:統一文言を見直してください

対応2:見直し訂正しました。

意見3:孤立しやすい環境があることが活動に制限をかけているとお考えですか？

対応3:はい。

意見4:孤立していないメンバーや不安を抱えていないメンバーにはどのように対

応されますか？

対応4:孤立したり不安をかかえている人に支えたり寄り添う側になってもらいた

い。

意見5:二段落目の「まずは、」の部分は「大切」につながっていますか？そこを大

切にしていきたいとの意味ですか？

対応5:はいそうです。

意見6:青年会議所活動を子どもだけに後押しをしてもらうイメージですか？

対応6:子供含めた家族です。

意見7:メンバーの不安とは、誰が抱えている、どんなことですか？

対応7:特に新入会員です。馴染めていないことや何をしたらいいかわからない様々

なこと。

意見8:メンバー家族の不安ではないか？主語の書き方で意味合いが変わってく

る？

対応8:主語を見直しました。

意見9:交流を深め→交流のきっかけの場は時系列が違う

対応9:文章を見直し訂正しました。

意見10:先輩諸兄姉との交流は12月だけで考えておられますか？

対応10:懇親会などでお店を利用したり会えるきっかけ作りをするつもりです。

意見11:理事長の想いを汲んで、統一してほしい。

対応11:理事長の想いを汲んで統一しました。

意見12:交流の本質とは何だとお考えですか？

対応12:助け合いや寄り添う関係性を作るためのベース作り。

意見 1 3 : 交流委員会としては、何をブレイクスルーするおつもりですか？

対応 1 3 : 困難や課題に直面しても個々ではなくチームとして助け合い、その課題をブレイクスルーします。

意見 1 4 : 初めての担当例会が5月ですが、それまでに何か活動はされますか？

対応 1 4 : 懇親会など積極的に主催します。